



人工木デッキ 開き戸 アルミ仕様

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

お願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

▲ 注意

- 設置場所を確認してください。
・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 製品の改造は絶対にしないでください。

施工前のお願い

- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を実に締付け、固定してください。強度低下の原因になります。
- ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
・φ4ねじ：1.5N・m
・φ5ねじ：3.0N・m
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

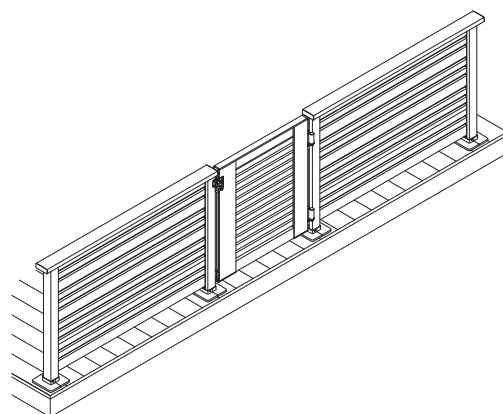
施工前のお願い

- フェンスの取付け方法については「人工木デッキ デッキフェンス アルミ仕様 取付説明書」(EXM-212)を参照してください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

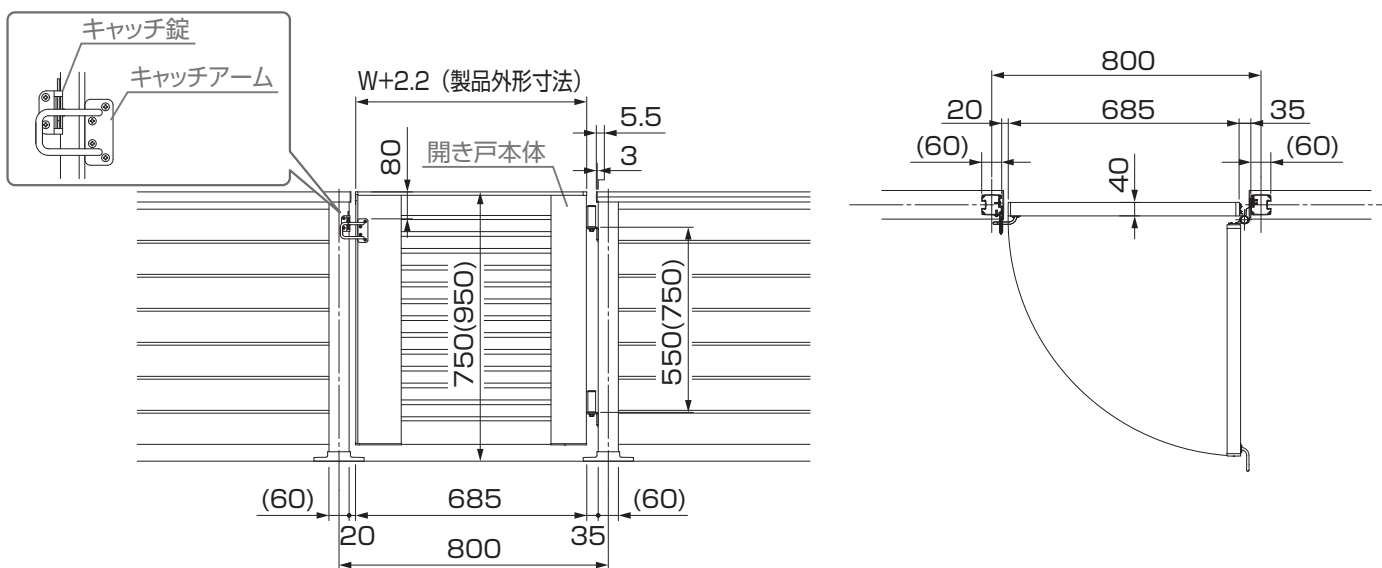
	ページ	チェック内容	チェック欄
1	P3~7	正しいねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか？	☐
2	P3~7	寸法指示に従って施工取付しましたか？	☐
3	P2	施工制限の施工可否を確認しましたか？	☐



1 基本寸法図

施工上のお願い

- 吊元側主柱には、必ずデッキフェンスを連結してください。



2 施工制限

施工上のお願い

- 下記の施工可否を必ず確認してください。
- 差替え**の記載のあるもの（左勝手内開き、右勝手外開き）は、調整金具とキャッチ錠本体の差し替えが必要となります。詳細はP4参照してください。

	フェンスコーナー部への取り付け		フェンス端部への取り付け		フェンス中央部への取り付け
内開き	戸先側がコーナー部	✗ ※キャッチアームが面材にあたる 外側 外側	戸先側が端部	○ 外側 差替え 外側	○ 外側
	吊元側がコーナー部	○ 外側 差替え 外側	吊元側が端部	✗ ※主柱強度不足 外側 外側	差替え 外側
外開き	戸先側がコーナー部	✗ ※笠木と扉の隙間が狭い 外側 外側	戸先側が端部	○ 外側 差替え 外側	○ 外側
	吊元側がコーナー部	○ 外側 差替え	吊元側が端部	✗ ※主柱強度不足 外側 外側	差替え 外側

3 取付け前準備

3-1 ヒンジの取付け

施工上のお願ひ

- ヒンジには上下があります。下ヒンジには抜け止めネジ(※1)がついています。
- ネジの締め付けトルクは、 $2.5\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)をお守りください。
- 框裏板にキャップのツメを引っ掛けるようにスライドさせて取付けてください。
- 吊元框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- ネジの締め付けトルクは、 $1.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.3\text{N}\cdot\text{m}$ ($10\pm 3\text{kgf}\cdot\text{cm}$)をお守りください。

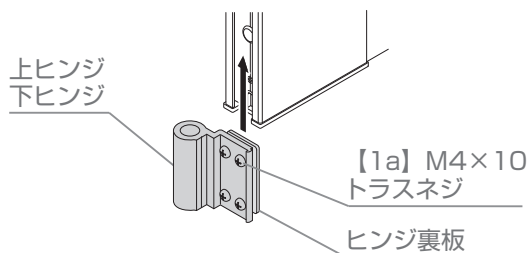
- 1: 吊元框下キャップをスライドさせて取外す
- 2: ヒンジ裏板を吊元框下端からスライド
- 3: 各ヒンジをヒンジ裏板に【1a】で取付け
- 4: ヒンジキャップを各ヒンジに取付け
- 5: 吊元框下キャップを吊元框にスライドさせて【1b】で取付け

補足

- 吊元框下キャップのツメが框裏板に引っかかっていますので、スライドさせて取外してください。
- 吊元框下キャップは仮固定状態で梱包しています。

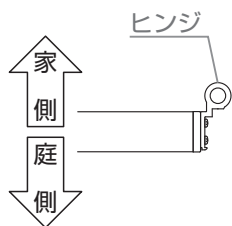
▼ ヒンジの事前確認 ▼

- ヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせ、取付けると簡単です。

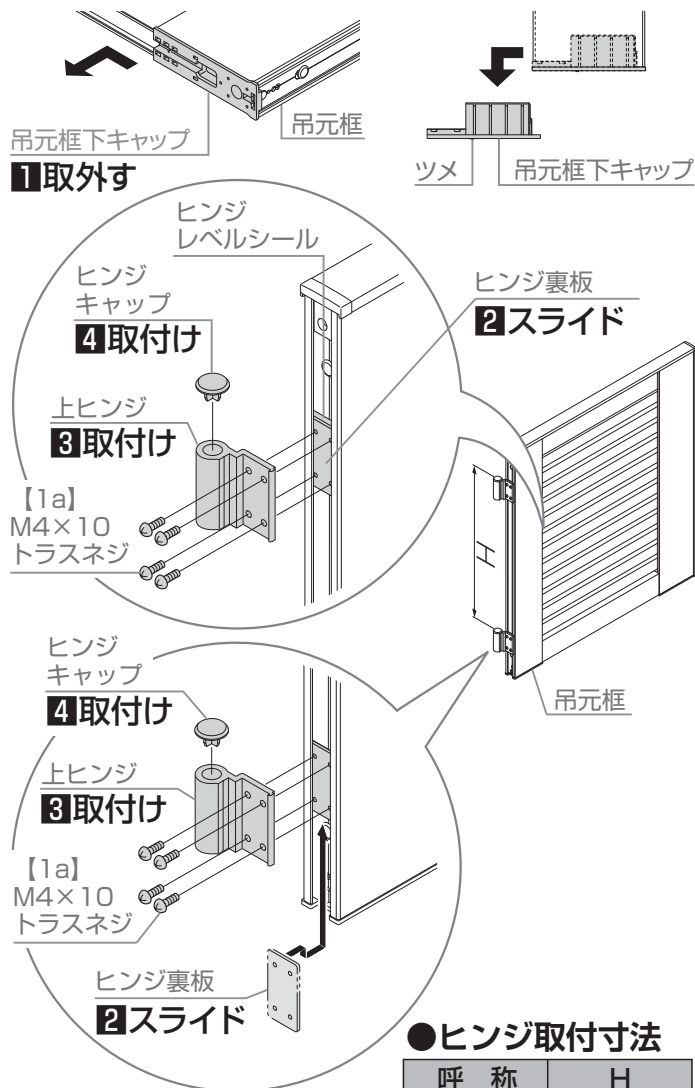


- ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。

【内開き】

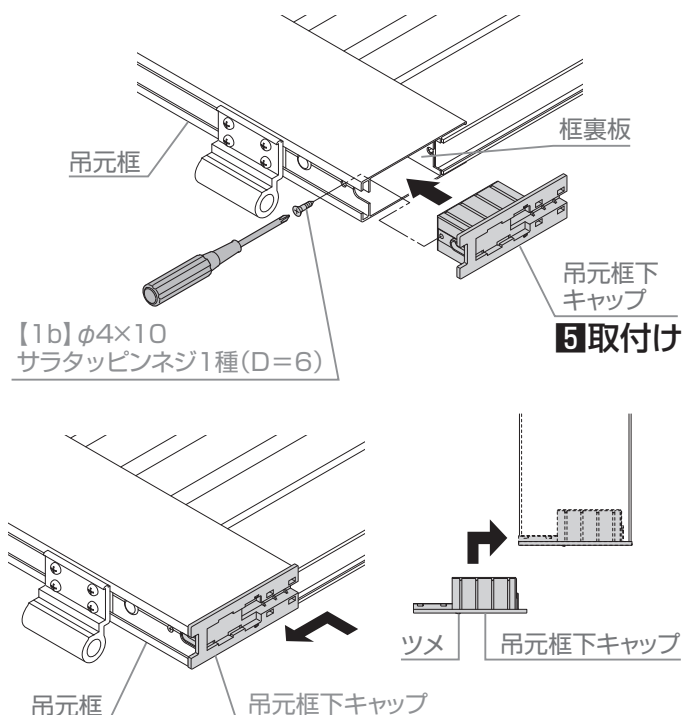


【外開き】



●ヒンジ取付け寸法

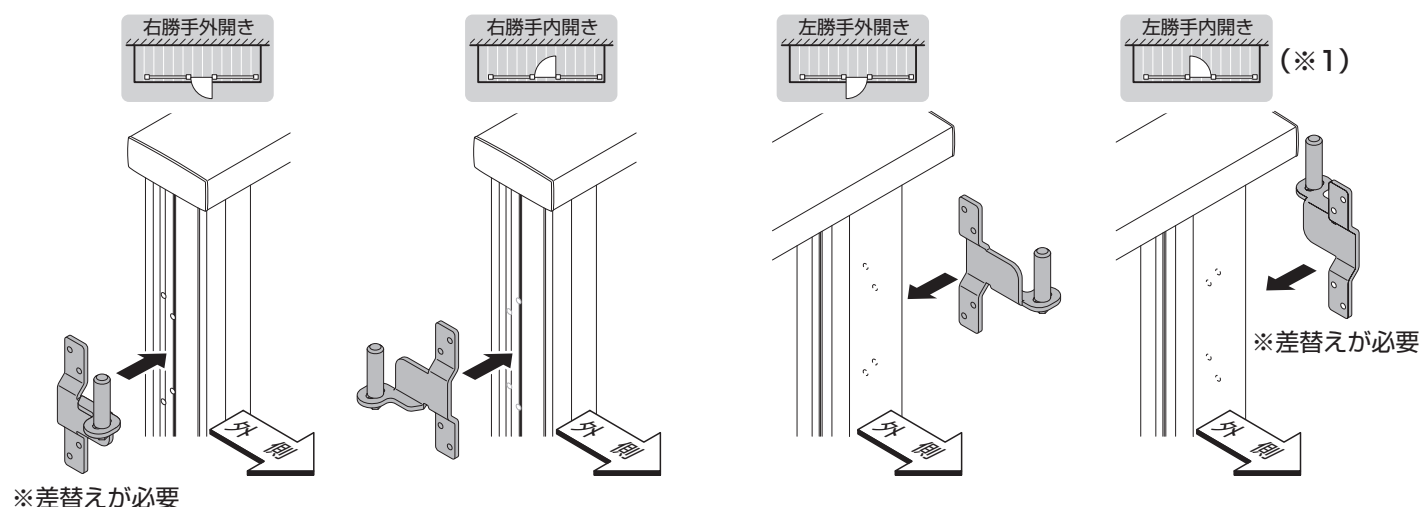
呼 称	H
H8	550
H10	750



3-2 調整金具向きの確認

3-2-1 取付け向きの確認

❶:それぞれの勝手ごとの調整金具の向きを確認



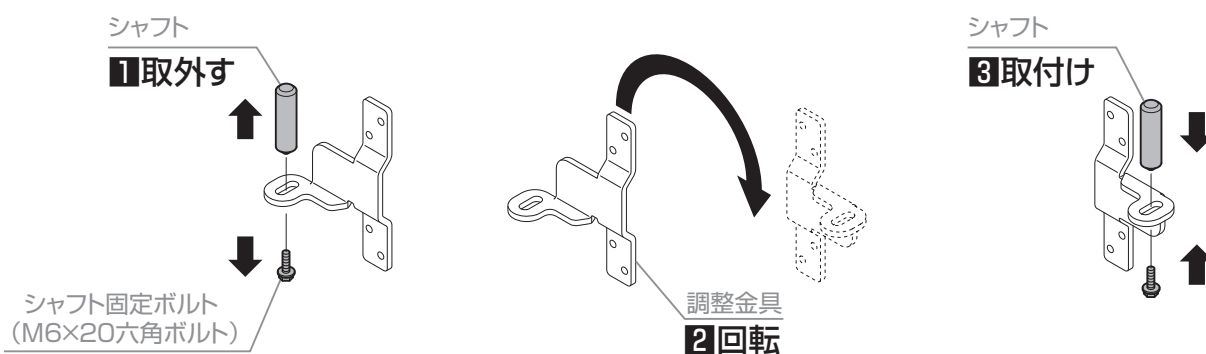
3-2-2 調整金具の差し替え

※ 右勝手外開き ・ 左勝手内開き の場合の作業です。その他の納まりでは必要ありません。

❶:調整金具セットのシャフトを取外す

❷:調整金具を180°回転

❸:取外したシャフトを取付け



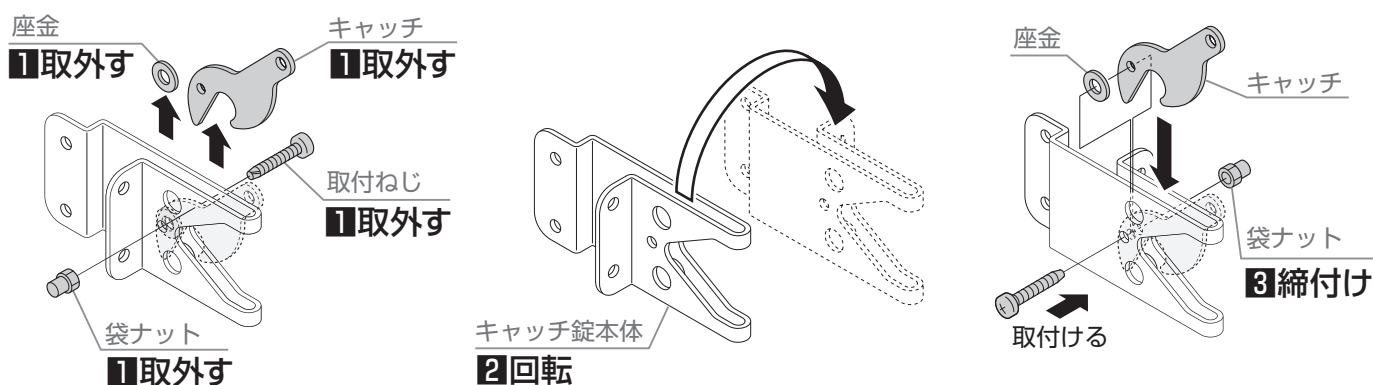
3-3 キャッチ錠本体の差し替え

※ 右勝手外開き ・ 左勝手内開き の場合の作業です。その他の納まりでは必要ありません。

❶:袋ナット、取付ねじ、キャッチ(付属の座金)を取外す

❷:キャッチ錠本体を180°回転

❸:取外した部品をキャッチ錠本体セットのフラットな面から挿入し袋ナットで締付け

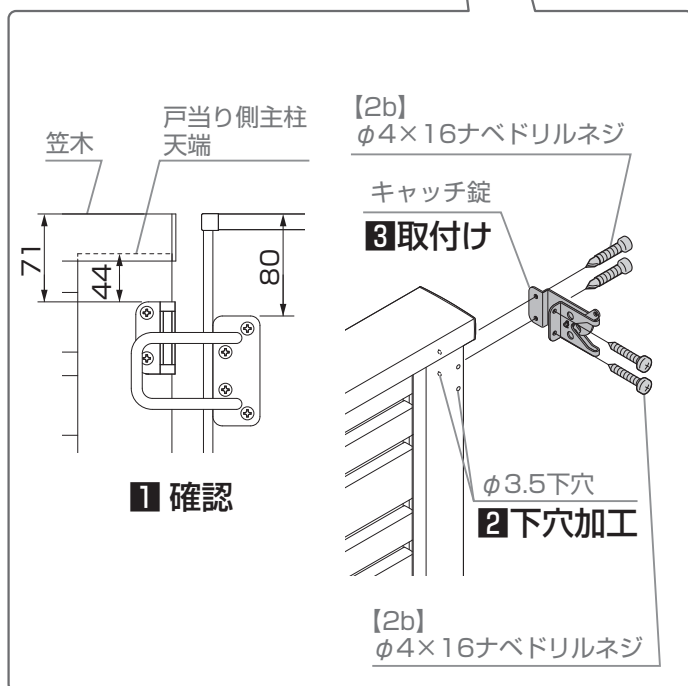
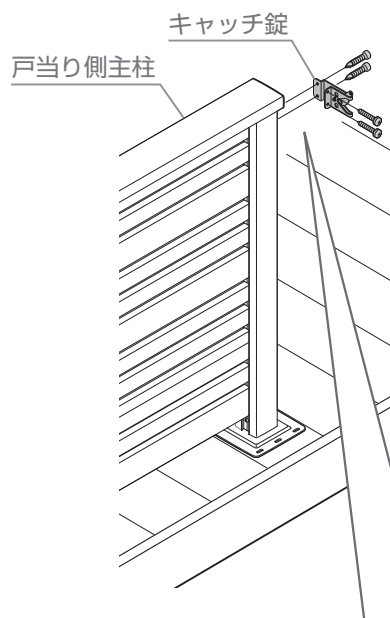


4 開き戸の取付け

4-1 錠セットの取付け

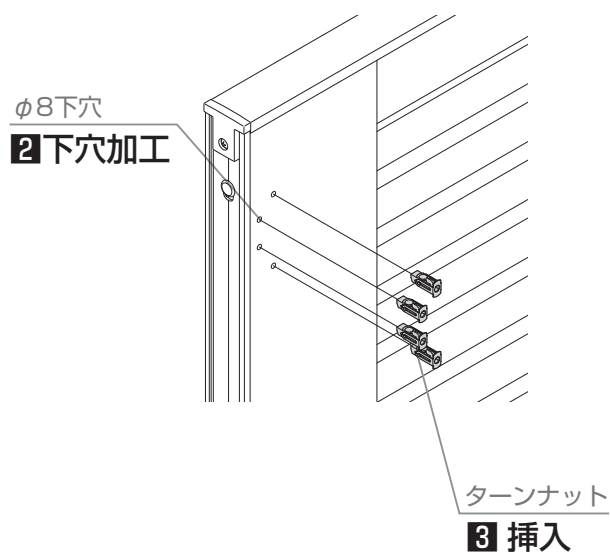
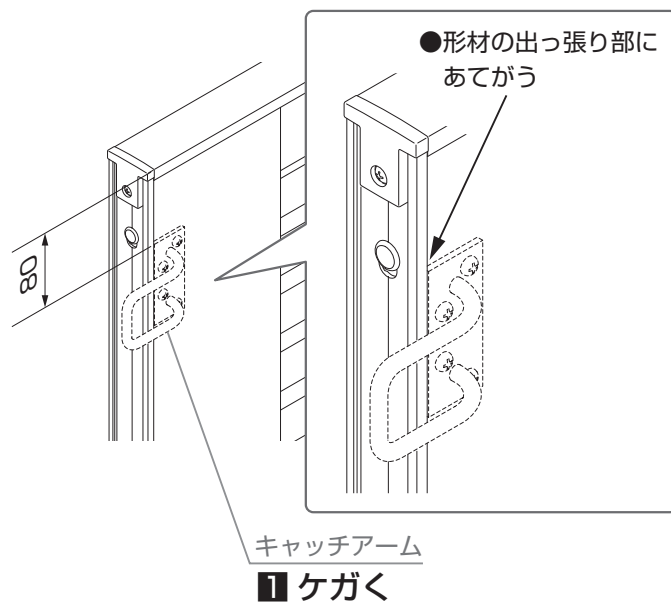
4-1-1 キャッチ錠の取付け

- 1: 取付け高さの確認
- 2: 戸当り側の支柱に $\phi 3.5$ の下穴加工
- 3: キャッチ錠を【2b】で取付け



4-1-2 キャッチアーム取付け準備

- 1: キャッチアームを取付位置にあてがってケガく
- 2: キャッチアームのネジ穴に写し穴でポンチ打ちし、 $\phi 8$ の下穴加工
- 3: 下穴にターンナットを挿入

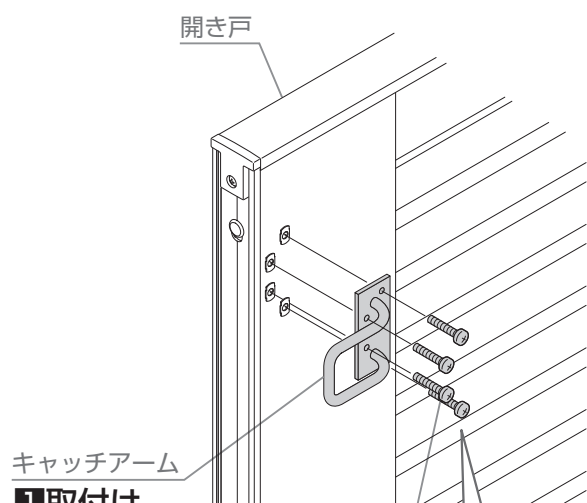
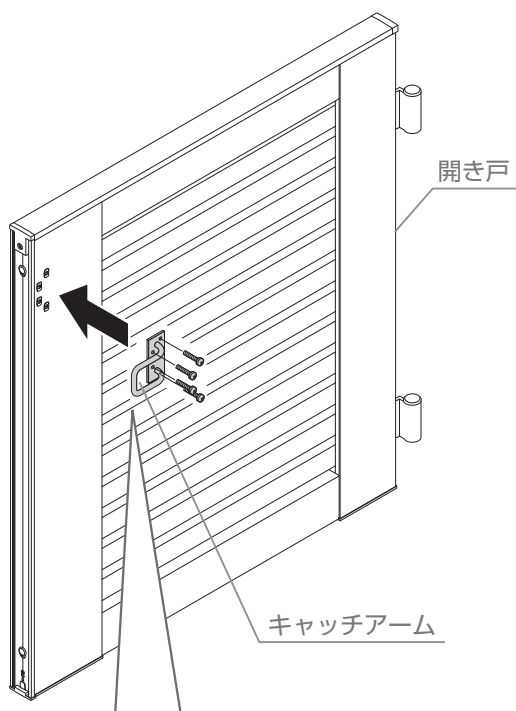


4 開き戸の取付け

4-1 錠セットの取付け

4-1-3 キャッチアームの取付け

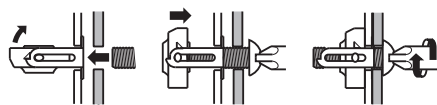
■: キャッチアームをターンナットのねじ穴に【2a】で取付け



1 取付け

【2a】
M4×16ナベ 小ネジ D=7

- ターンナットを下穴に挿入し、軽く押込みながら締付けてください。

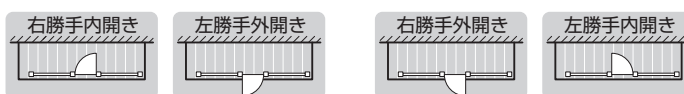
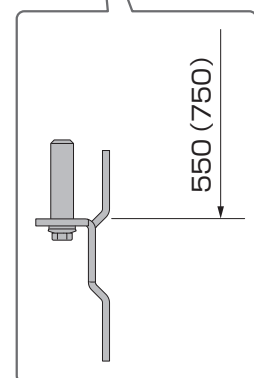
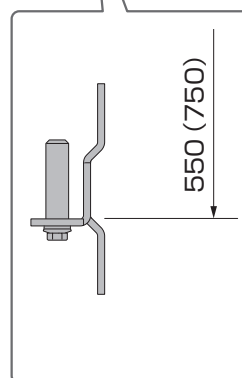
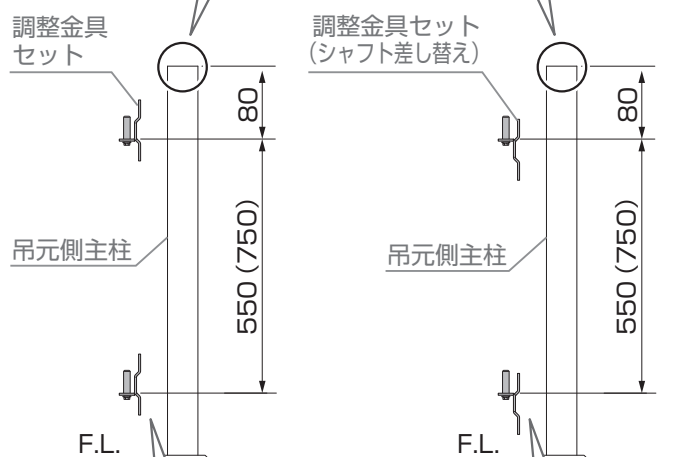
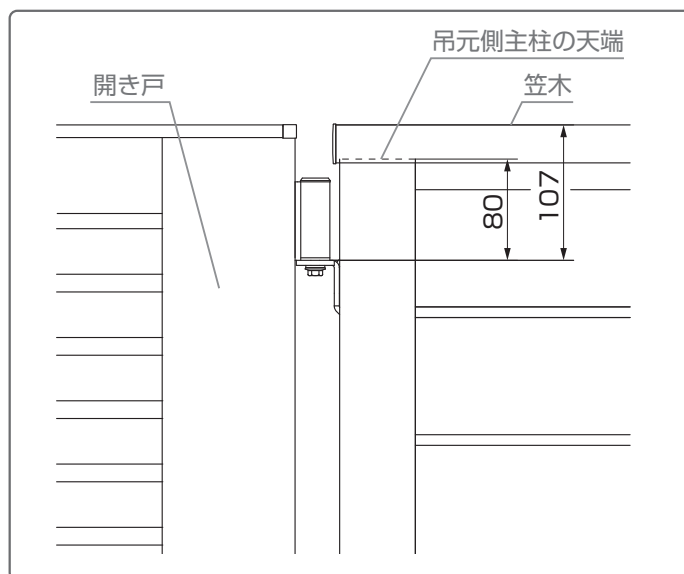


施工上のお願い

- 手回しドライバーを使用してください。

4-1-4 調整金具の取付け

■: キャッチ錠の取付け位置の確認



※図の寸法はT08を示します。
() はT10を示します。

4 開き戸の取付け

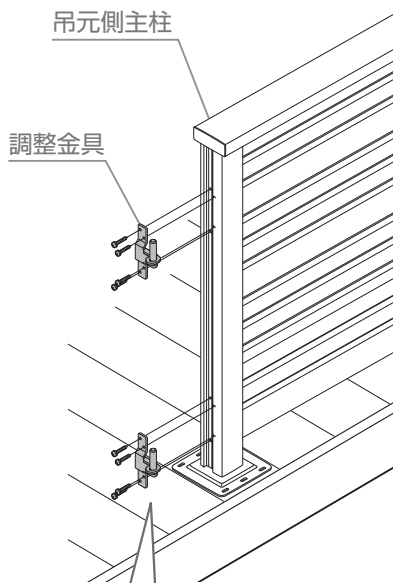
4-2 調整金具セットの取付け

4-2-1 調整金具の取付け

施工上のお願い

- 調整金具セットは正確な位置に取付けてください。位置がずれていると開閉に支障が出る場合があります。

- 1 調整金具セットを吊元側主柱の取付け位置にあて、ネジ位置にφ3.5の下穴加工
- 2 調整金具セットを【2b】で取付け



φ3.5下穴

1 下穴加工

調整金具セット

2 取付け

【2b】

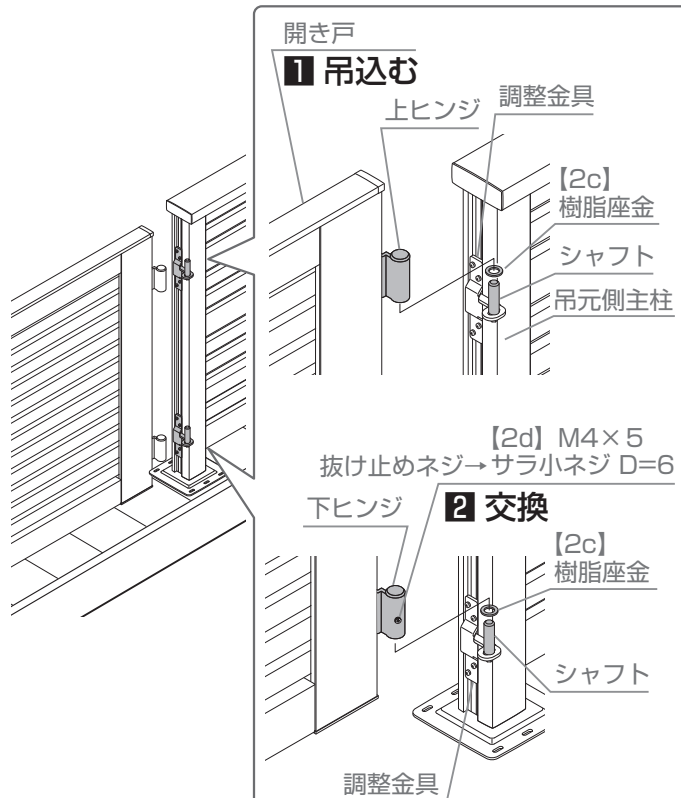
φ4×16ナベドリルネジ

吊元側主柱



4-2-2 開き戸の吊込み

- 1 調整金具のシャフトへ【2c】を入れ、開き戸のヒンジ部を差込み、開き戸を吊込む
- 2 下ヒンジの抜け止めネジを外して【2d】M4×5サラ小ネジに交換



開き戸

1 吊込む

上ヒンジ 調整金具

【2c】
樹脂座金

シャフト

吊元側主柱

【2d】 M4×5

抜け止めネジ→サラ小ネジ D=6

下ヒンジ

2 交換

【2c】
樹脂座金

シャフト

調整金具

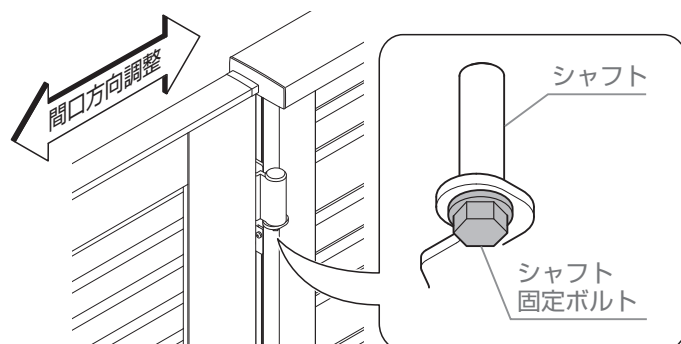
施工上のお願い

- 必ずねじの交換を行ってください。
- ヒンジの色に合わせてネジを交換してください。

4-2-3 開き戸の調整

施工上のお願い

- 間口方向の調整は、シャフト固定ボルトをゆるめてシャフト位置を移動して行なってください。
- 間口方向の調整範囲は±4mmです。
- 開閉音がある場合は潤滑剤(例CRC556)をヒンジに内部にスプレーしてください。



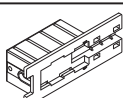
間口方向調整

シャフト

シャフト
固定ボルト

梱包明細表

【1】扉本体セット

名 称		略 図	員 数	
			T-8	T-10
開き戸 扉本体			1	1
ヒンジセット	ヒンジ（上）		1	1
	ヒンジ（下）		1	1
	ヒンジ裏板		2	2
	ヒンジカバー		2	2
	ヒンジキャップ		2	2
	【1a】M4×10トラスネジ		8	8
吊元框下キャップ ※1			1	1
【1b】φ4×10サラタツピンネジ 1種（D=6）		—	1	1
取付説明書〈EXM213〉		—	4	4

※1 扉本体に仮止めしてあります。

【2】錠セット

名 称	略 図	員 数
キャッチ錠本体セット		1
キャッチアーム		1
調整金具		2
ベースプレートカバー隙間塞ぎ ※施工方法はフェンス取説P25参照		2
M4 ターンナット		4
【2a】 M4×16ナベ 小ネジ D=7		4
【2b】 φ4×16ナベドリルネジ		12
【2c】 M13 樹脂座金		2
【2d】 M4×5 （+） サラ 小ネジ D=6（小袋入）（ブラック、生地：各1本）		2

メモ

This image shows a full page of white paper with horizontal dotted lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting practice. There are no margins, text, or other markings on the page.

メモ

[illegible]

[illegible]

